5　近海マグロ漁業試験

久貝一成、吉川一男

沖縄近海に春から夏にかけて回遊するクロマグロは、近海のマグロ類中その市場価値から重要魚種であり、当業船にとってこれの漁獲は水揚げ全額を左右する程であるが、年々漁獲量変動が大きくなっているのでこの調査を主目的として資源状況把握のため実施した。又、マグロ漁業では餌料代が経営にも影響を及ぼして来ているので、餌料の比較効果試験も併せて実施した。

1　試験の概要

1）期　　間　　昭和４９年５月２８日～６月８日

2）使用船舶　　図南丸（１５９.３１トン　４００馬力）

3）乗 組 員　　赤嶺正弘船長以下２０名

4）使用漁具　　１２０鉢～１４５鉢（１鉢に釣針５本付）

5）調査項目　　水温、塩分、胃内容物、魚種、体長組成、釣（混）獲率

2　経過及び結果の概要

1）総括及び航跡図

天候は梅雨期ということもあって不順であった。クロマグロの回遊は１尾釣獲（Ｎ２４°－２０′Ｅ１２６°－１２′付近）しただけですので詳しいことは分らないが、時期的にみて、北上後のようであった。当業船の水揚げも昨年に比べて少なかった。餌料の比較試験をサンマ、ティラピア、ムロ、トビウオを使って試験したが特徴はみられな　った。いずれも凍結物にして使用した。

2）海　況

天候は梅雨前線が沖縄南海域に停滞したため、頂度雨域で連日降雨と風波にみまわれ、操業にさしつかえる程であった。

水温分布は表面２６.３°～２７.３°C、５０ｍ２３.９°～２５.１°C、１００ｍ２２.４°～２３.２°C、１５０ｍ２１.２°～２１.９°C、２００ｍ１９.５°～２０.７°C、２５０ｍ１８.６°～１９.３°C、３００ｍ１６.８°～１７.６°C、であった。塩分濃度は、表面３４,５１２～３４,７１３‰、１００ｍ３４,９６２～３５,０３９‰、２００ｍ３４,９１１～３５,０５４‰、３００ｍ３４,７１２～３４,９６０‰であった。透明度は１８ｍ～２７ｍであった。

3）漁　況

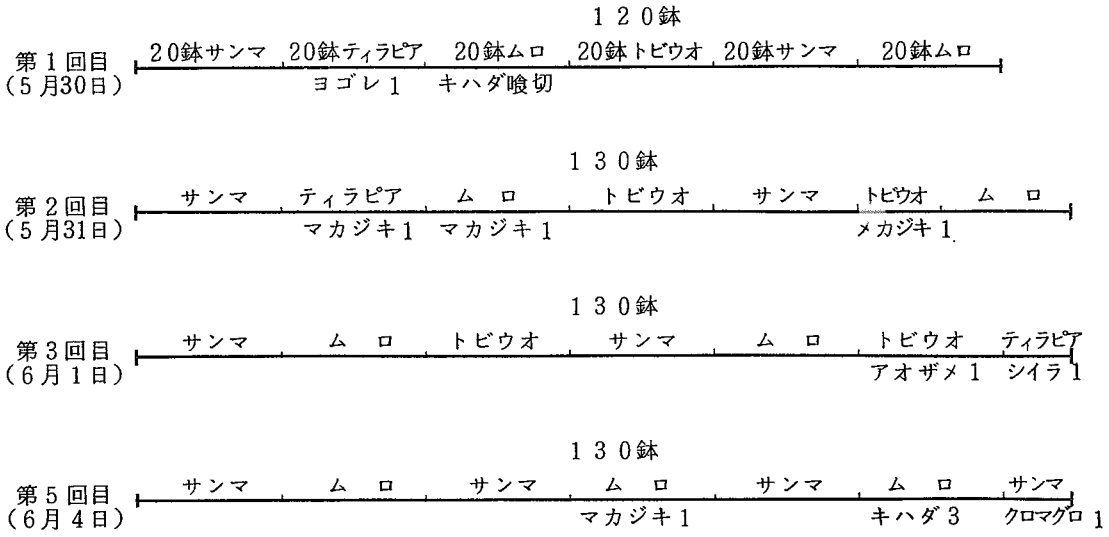
低調で、８回操業（鉢数１,０４５、釣針数５,２２５本）でキハダ５尾、クロマグロ１尾、メカジキ１尾、マカジキ１０尾、フウライカジキ１尾、サメ類３尾、その他２尾で０.８トンの水揚げであった。

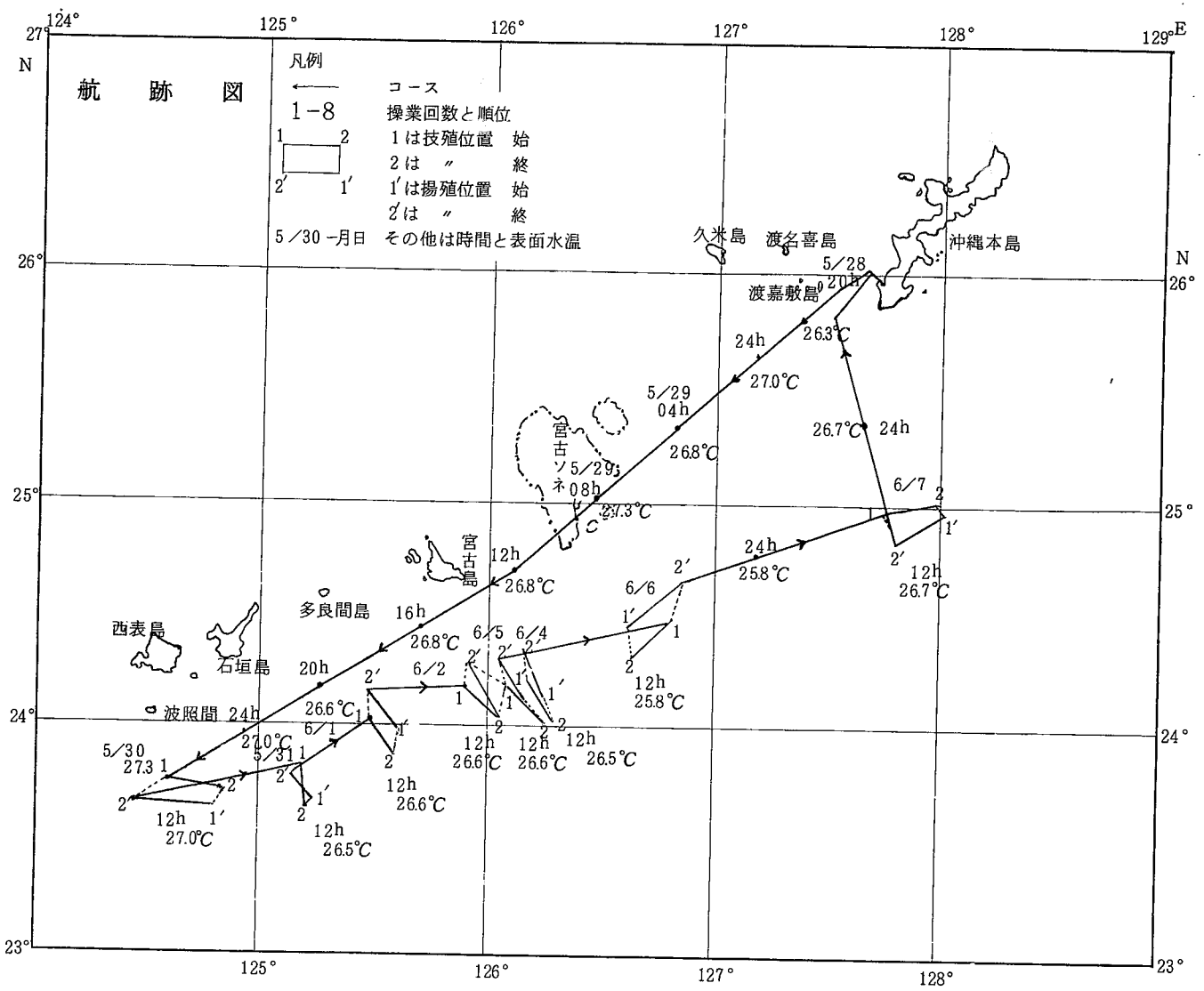
マグロ、カジキの漁場別、漁獲尾数と体長組成

魚種	キハダ						マカジキ						
体長 / 回数	100cm以下	101〜105	126〜130	131〜135	141〜145	計	146〜150	151〜155	156〜160	161〜165	166〜170	191〜195	計
1													
2											2		2
3													
4													
5	1	1		1		3				1			1
6			1			1		1		1	2		4
7							1				1	1	3
8					1	1							
計	1	1	1	1	1	5尾	1	1		2	5	1	10尾

4）餌料比較試験

ティラピアを47年、48年のマグロ調査の際活餌にして試験したが、かなり利用できる見通しがついたので49年度は凍結にして使用し、これと併行して、サンマ、ムロ、トビウオも比較試験したが殆んど特徴はみられず、多少ムロがよかっただけである。




航　跡　図
凡例
コース
1－8
操業回数と順位
1は技殖位置　始
2は　〃　終
1′は揚殖位置　始
2′は　〃　終
5／30 一月日　その他は時間と表面水温
124°
125°
126°
127°
128°
129°E
27°
26°
25°
24°
23°
N
久米島
渡名喜島
沖縄本島
渡嘉敷島
宮古島
ソネ
多良間島
西表島
石垣島
波照間
5／28
20h
26.3℃
24h
27.0℃
5／29
04h
26.8℃
26.7℃
24h
6／7
12h
26.7℃
5／29
08h
27.3℃
12h
26.8℃
24h
25.8℃
6／6
12h
25.8℃
16h
26.8℃
6／5
6／4
6／2
20h
26.6℃
24h
27.0℃
6／1
5／31
5／30
27.3
12h
27.0℃
12h
26.5℃
12h
26.6℃
12h
26.6℃
12h
26.6℃
12h
26.5℃